

藤沢型子育て支援 地域で連携サポート



「縁側」で深まる 住民同士の「絆」

—藤沢市の取り組みについてお聞かせください。

鈴木 藤沢市では、住民同士のつながりや絆を深めてお互いの暮らしを支え合う仕組み「地域の縁側」事業を進めています。これもが放課後や講座を実施したり、子どもたちが遊びを体験できる場で、現在の実施団体は14団体です。今後40団体での実施を目指してあります。また、高齢者、子ども、障がい者など全市民がいつまでも自分らしい暮ら

「まちのコンシェルジュ」の

鈴木 恒夫 藤沢市長



検討も進めています。

上関

われわれが子ども

の頃は公園に集まり、そ

うに、地域の皆さん、事

業者・民間企業・各種団

体と行政などがマルチ

パートナーシップを組み、

それぞれが役割分担をし

て、新しい地域づくりを目

的です。これは、地域の方々

が集い、さまざまな活動

や講座を実施したり、子

どもたちが放課後にいろ

どん遊びを体験できる場

で、現在の実施団体は14

団体です。今後40団体での

実施を目指してあります。

また、高齢者、子ども、

障がい者など全市民がい

つまでも自分らしい暮ら

りが希薄になっている

ところは、地域のつ

ながりが希薄になっている

ということは、地域のつ

ながりが希薄になっている

ということは